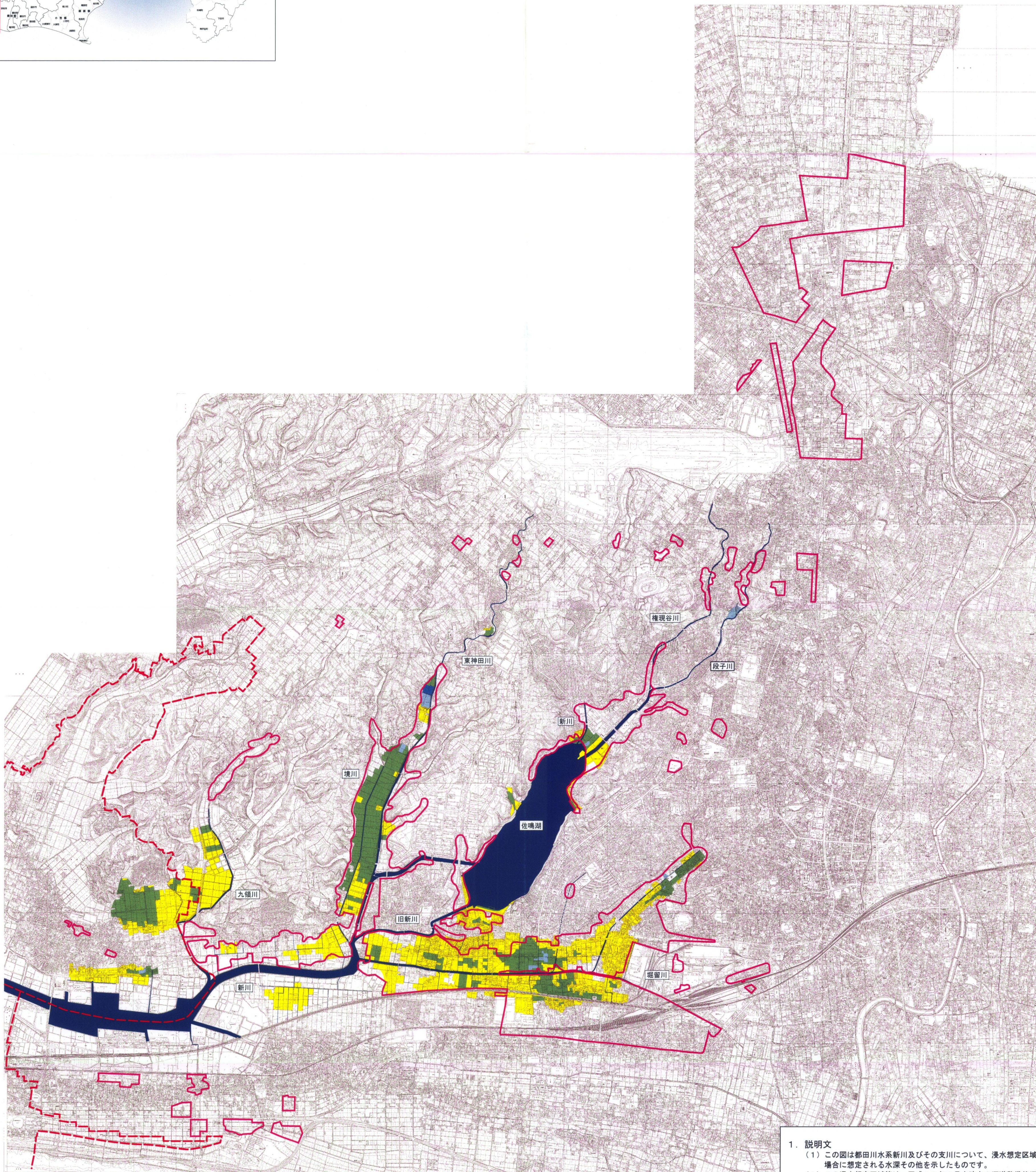
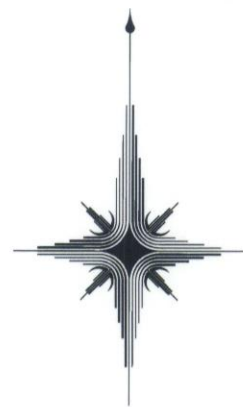


# 都田川水系新川浸水想定区域図（総括版）



凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	0.0~0.5m未満の区域
	0.5~1.0m未満の区域
	1.0~2.0m未満の区域
	2.0~5.0m未満の区域
	5.0m以上の区域
	市町村境界
	シミュレーションで対象とした河川及び水路
	浸水実績 (昭和50年10月及び平成元年~平成15年)

1. 説明文
  - (1) この図は都田川水系新川及びその支川について、浸水想定区域と当該地区が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
  - (2) この浸水想定区域等は、平成15年3月末時点の河道整備状況を勘案して、戦後最大の被害が発生した昭和50年10月7日と同規模の降雨が降ったことにより想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実地にあたっては、高潮及び想定を超える降雨等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
 

(1) 作成主体	静岡県
(2) 作成年月日	平成16年3月
(3) シミュレーションの対象とした河川	新川：河口より0.5kmから7.1km (佐鳴湖上流弥生橋付近)まで
	九領川：新川合流点から2.5km(県道宇布見・浜松線)まで
	堀留川：新川合流点から3.7km(JR引き込み線)まで
	東神田川：新川合流点から5.3km(西山北橋)まで
	段子川：佐鳴湖合流点から3.8km(昭和橋150m上流)まで
	権現谷川：段子川合流点から2.8km(水神橋付近)まで
(4) 対象降雨	昭和50年10月7日~8日の降雨(24時間雨量33.6mm)
(5) 関係市町村	浜松市、雄踏町
(6) その他計算条件等	

  - ① この図は都田川水系新川及びその支川を対象に堤防が破壊した場合の浸水想定区域を示しています。  
また、主要な排水路をモデル化し、内水氾濫についても考慮しています。
  - ② 氾濫計算は、対象区間をおよそ50m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として、水深を計算しており、また、計算メッシュの地盤高は平成12年度の1/2500地形図の標高点から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形やその後の開発による地盤高の変化による影響が表せていない場合があります。
  - ③ 浸水想定区域や等深線は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算定し、隣接する計算メッシュとの連続性や1/2500地形図上の地形、連続盛土構造物(道路及び鉄道の盛土など)を考慮して図化しています。